

AI 技術による知覚情報解析とその応用

研究の概要

研究が機械学習（主に深層学習）技術を中心に、人間活動からなる膨大で複雑な構造を有するデータにより、価値のある知識や情報を学習、発見、あるいは生成し、さらに、それらを利活用するための知的データ処理に関わる研究開発、ならびに、それらの実課題における様々な問題の解決への提案に関する内容（図1）となります。

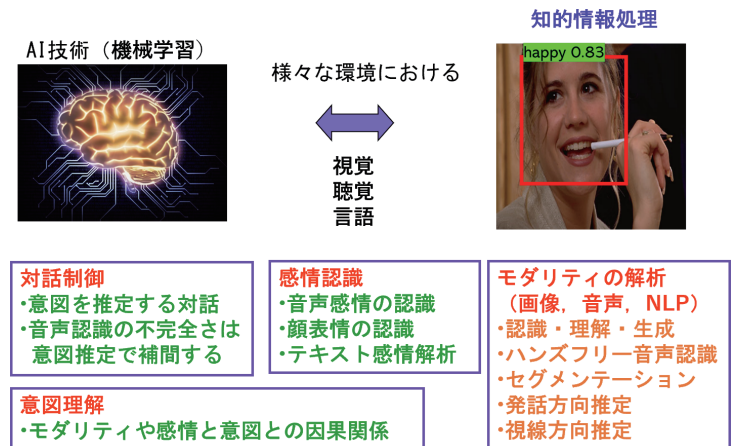


図1 研究の概要

研究の特徴

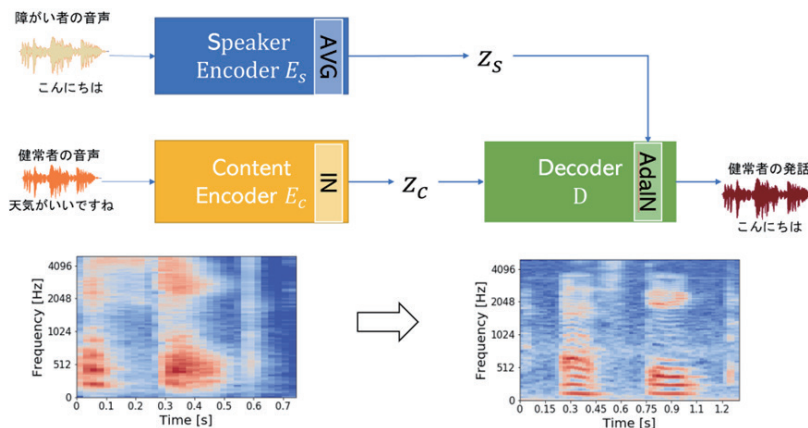


図2 声質変換による構音障がい者発話の訂正

図2に示す応用例（構音障がい者発話の訂正研究）に限らず、人間の知覚に深くかかるデータの解析、さらにそれらの利活用するための音声処理、コンピュータビジョン、自然言語処理、パターン認識、データマイニングなどの要素技術及びその実社会課題への応用研究に取り込んでいます。

知財権（特許第 6964857 号、第 6788264 号）：

- ・画像認識装置、画像認識方法、コンピュータプログラム、及び製品監視システム
- ・表情認識方法、表情認識装置、コンピュータプログラム及び広告管理システム

実用化が想定される分野

人工知能，マルチメディア工学，福祉分野

研究者からのメッセージ

AI 技術を横断分野課題への応用・融合研究に積極的開拓しようとしています。特に福祉，医療，交通データなど課題へ AI 技術の導入に深く研究興味を持っております。

和歌山大学知的情報処理研究室 HP：<https://www.jinhuichen.com>

研究分野：人工知能，機械学習，知覚情報処理

研究者の所属部局・職位・氏名：和歌山大学システム工学部 情報学領域・准教授・陳金輝

本件に関するお問い合わせ：liaison@ml.wakayama-u.ac.jp